

黒川議員の質問への回答

協和発酵 平田 正

(1) 日本の情報ポータルサイトの使いやすさについて

- ・ データベース(DB)で更新されていないものあり、利用価値少ない
- ・ 生物系の必要なDBの所在が不明でアクセス不便
(すべての情報検索が1つのgatewayから実行できれば便利)
- ・ DBのポータルサイトで形式、用語が不統一、標準化が望まれる
- ・ 必要な時にすぐ必要な情報が得られる。Googleのような高性能な検索ツールが欲しい
- ・ 洗練されたインターフェース、グラフィック表示、ファイル形式(.エクセルなど)など扱いやすいアウトプットを望む
- ・ ゲノム、タンパク情報と特許情報との連携を密にし、知財情報の入手が簡潔なDBが必要
- ・ 各省庁の国プロの成果がすべてDBとして公開されていない
生データが入手できれば企業はDB化や必要なツール作成を自社内で進め国プロの成果を活用できる
- ・ 基本的なインフラとしてアカデミックだけでなく国民に安価に広く公開すべきである

概してわが国のバイオ情報DBはIT系の人で作られていて、バイオ系の人にはややユーザーフレンドリーでないところあり(NCBIとの比較)。バイオ系の人も積極的にDB、システムづくりに加わるべきであろう。

(2) 翻訳について

- ・ 英文のデータベースの翻訳版は必要なし。ただしデータベースの概要説明、利用領域などは日本語のものがあれば便利

以上